



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年12月14日 No.211

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

ねんはなおか みまも きよぼく はなおかおちゃのしんぱく 480年花岡を見守る巨木 花岡御茶屋ノ榎柏

出前授業で訪れた下松市立花岡小学校の入り口に立派な巨木がたっています。これは、**花岡御茶屋ノ榎柏**で市の天然記念物に指定されています。この**榎柏(シンパク)**は、ヒノキ科の常緑針葉高木で高さは、約1.2mあり、樹齢は480年を越えるといわれています。この場所には、江戸時代に領地を管理するための**都濃郡宰判花岡勘場(代官所)**がありました。また、**山陽道**の宿場であった**花岡**には、**参勤交代**の際に藩主が休泊する**御茶屋(本陣)**が設けられていました。花岡八幡宮には、当時の様子を描いた絵馬があります。幕末の藩主**毛利敬親**が、江戸に向かう途中病になり、**花岡御茶屋**で桜を見ながら静養されたと伝わっています。その桜は**敬親**の雅号に因んで**春雨桜**と名付けられました。

参考文献『下松市史』



花岡御茶屋ノ榎柏 (市天然記念物)



花岡勘場跡碑



春雨桜の石碑



重要文化財**関伽井坊塔婆(多宝塔)**のある**花岡八幡宮**の参道脇に、**和算家弘鴻**の碑があります。**弘鴻**(1829~1903)は、**花岡御番所**に勤める**八右衛門**を父として、**花岡**に生まれました。少年時代から数学に優れており、地元の算学者について和算を学びました。20歳で家督を継いだ後も学び続け、数学や天文に関する本を何冊も書いています。**四境戦争(第二次長州征討)**の際、国境が封鎖され、農作業に必要であった**暦**が手に入らなくなったため、**暦「種蒔の菜」**を作り藩主に献上し、藩から人々に配られたそうです。その後、**山口明倫館**の教授として迎えられ、明治時代になり**山口師範学校(現山口大学教育学部)**の数学教師等を勤めました。暦について生涯関心を持ち続け、**太陽暦(現在の暦)**の採用を政府に進言しました。

参考文献『これは「種蒔の菜」』和氣浩子



関伽井坊塔婆 (国指定重要文化財)



弘鴻の碑



弘鴻写真 (山口県立山口図書館蔵)



山口博物館ホームページ「天文資料—天文史跡」で、弘鴻の碑について紹介しています。